

TORANOTECアクティブジャパン

追加型投信／国内／株式

2018年2月28日基準

費用はかかりますか？

ファンドの概要

設 定 日	2017年9月29日
決 算 日	毎年7月20日(休業日の場合は翌営業日)
信 託 期 間	無期限
収 益 分 配	毎期、決算日に収益分配方針に基づいて分配を行います。

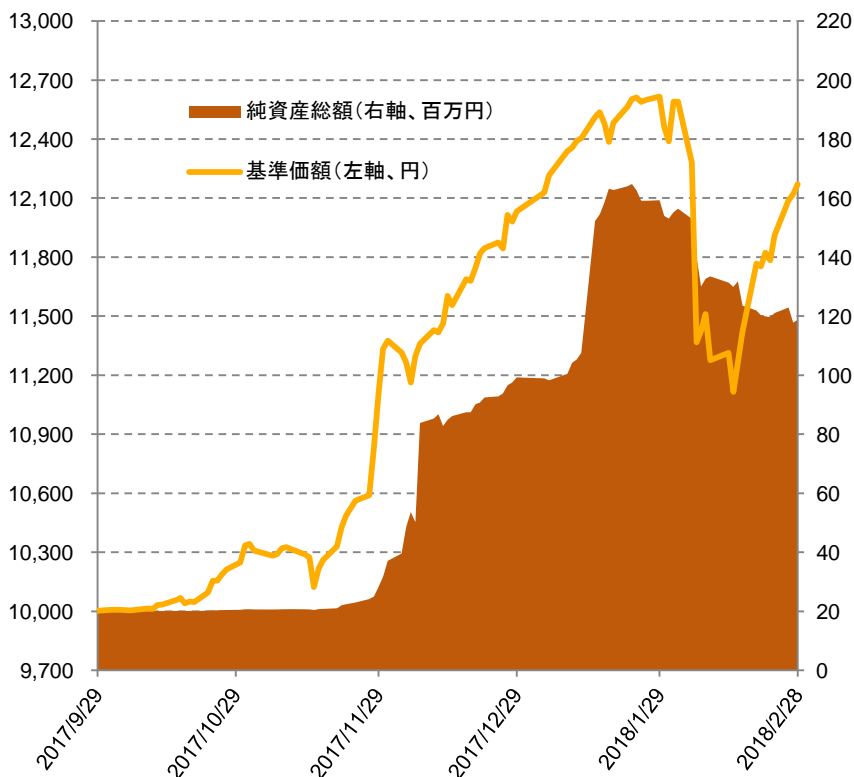
無料です。

ファンドの特色・投資方針

- わが国の中小型株を中心に成長性の高い銘柄などに幅広く投資します。
- 中小型株の投資魅力である企業の成長性に主として着眼し、また、割安な企業、変化する企業を選別します。
- 中長期的観点からの投資を基本としますが、企業の経営姿勢や業績の変化、株価水準等から総合的に判断し、個別銘柄に対する投資比率の調整を行います。
- 数倍化する可能性のある銘柄の発掘に努めます。

会場はどこですか？

パフォーマンス



基準価額	12,170円
前月末比	-219円
純資産総額	118百万円

資産構成	
株式	87.8%
その他	12.2%

期間別騰落率(%)					
1M	3M	6M	1Y	3Y	設定来
-1.77	7.39	-	-	-	-21.70

分配金	
	-円
設定来	-円

TORANOTEC アクティブジャパン

追加型投信／国内／株式

2018年2月28日基準

ポートフォリオ

純資産総額に対する組入比率上位10銘柄(全45銘柄)				市場別		
1	アルコニックス	卸売業	4.1%	非鉄原料の専門商社ながら、M&Aにより製造部門の経常利益が全体の6割強に	東証一部	64.5%
2	大阪ソーダ	化学	3.4%	基礎化学品から機能化学品、さらに医薬品関連分野へ展開	東証二部	7.7%
3	日精樹脂工業	機械	3.3%	プラスチックの射出成型機を中心に扱うメーカー	マザーズ	2.4%
4	萩原工業	その他製品	3.1%	ポリエチレン・ポリプロピレンを主原料とした合成樹脂繊維製品などの製造・販売(ブルーシートのトップメーカー)	その他	13.2%
5	鳥羽洋行	卸売業	3.1%	空圧機器を中心に制御・FA機器・産業機器などを扱う専門商社	合計	87.8%
6	ケル	電気機器	2.7%	制御機器や半導体製造装置など工業機器向けコネクタなどの製造・販売	業種別上位	
7	月島機械	機械	2.7%	浄水場、下水処理場などの水環境事業と化学・鉄鋼・食品などの産業事業の二本柱	機械	14.1%
8	三陽商会	繊維製品	2.7%	アパレル大手。事業構造改革と成長戦略を推進中	電気機器	12.2%
9	壽屋	その他製品	2.7%	フィギュアやプラモデルの企画・製造・販売	その他製品	9.8%
10	日本コンセプト	倉庫・運輸関連業	2.6%	タンクコンテナを用いた総合液体物流業(2/13 商船三井と資本業務提携)	化学	9.5%
					卸売業	9.2%

コメント

<運用状況>

2月の株式相場は米長期金利の上昇を契機に米国株が急落し世界連鎖株となりました。日経平均株価は円高進行(1ドル=105円台)とともに14日に一時21,000円を割り込む場面がありました。その後、米国株の反転とともに戻り歩調をたどったものの荒い値動きとなりました。新興市場を含む中小型株市場においては、東証1部市場の大幅下落を受けて大幅安となりました。ただ、その後、東証1部市場の落ち着いたきとともに投資家心理が改善し戻りを試す動きとなり、ジャスダック指数は15~28日まで10営業日続伸しました。当ファンドの主要投資対象の当月の騰落率(前月末比)は、中型株指数-4.3%、小型株指数-3.2%、東証2部指数-1.9%、日経ジャスダック平均-2.2%、東証マザーズ指数-5.7%となりました。

当ファンドの運用においては、上旬の株価急落で組入比率を一時75%程度まで引き下げるなど一段安に備えた投資姿勢をとりました。株式市場全体の動きに対して株価の感応度の高い銘柄の比率調整や株価急落で含み損が大きくなった銘柄を売却(ロスカット)しました。ただ、一方では株価下落で割安感が出てきた好業績銘柄や保有銘柄などの押し目買いを入れるとともに新規公開銘柄の入札にも積極的に参加し、2月末の株式組入比率を87.8%まで高めました(1月末82.9%)。

<今後の運用方針>

株式相場は2月上旬の急落から、その後落ち着きを取り戻しつつあったものの、米連邦準備制度理事会(FRB)のパウエル新議長発言(利上げペースの加速を示唆)やトランプ米大統領の保護主義的政策などが世界景気に悪影響を与えるとの警戒感から再び値動きが荒くなっています。日本株は世界景気敏感株と捉えられていることや円高が来期の企業業績の圧迫要因として相場の重荷となっています。需給面においても3月は企業の決算期末ということもあり決算対策に向けた売りが中旬までは出ることが予想されます。また、株価の乱高下を受け、反発局面では戻り待ちの売りが上値を抑えそうです。一方、個人の待機資金は潤沢で投資余力はなお高いとみられ、下押し場面では個人投資家の押し目買いや企業の自社株買いなどが相場を支えるものともみえています。急落後の戻りが鈍く不安定な相場展開が続くそうですが、景気減速などファンダメンタルズの悪化につながらなければ弱気相場に陥ることなく持ち直しの動きが出てくるものと予想しています。新興市場を含む中小型株市場においては、外部環境の不透明感を背景に東証1部の主力銘柄を手掛けづらく、円高などの影響を受けにくい内需関連の多い中小型株を個別に物色する展開を想定しています。2月下旬から始まった今年の新規公開(IPO)市場では3銘柄連続で上場初日に値が付かず、初値が公募価格に対して2.3~4.3倍に人気化するなど個人投資家の物色意欲は旺盛です。不安定な相場が続く中、3月のIPOは14銘柄が予定されていますが、テーマ性があり成長が期待できる銘柄がある一方、投資ファンドが大株主になっている出口案件もあるなど投資家の銘柄選別が強まるものと考えています。

今後の運用につきましては、保有銘柄の見直しを中心に行ってまいります。今回の株価急落は市場心理が強気に傾き過ぎた(買われ過ぎ)反動とも捉えられ、中長期的に見れば買いの好機とも考えられます。ただ、今回の相場調整で個別銘柄の戻りに明暗がみられ、銘柄選別が重要になっています。銘柄選別にあたっては企業の割安・変化・成長の投資視点のもと、パフォーマンスに大きく貢献してくれる銘柄の発掘に努めてまいります。

当資料は当該ファンドに関する運用状況の情報提供を目的として、TORANOTEC投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は信頼できる公開情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完全性を保証するものではありません。また、当資料の運用実績・データ等は過去のものであり、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。投資信託は、株式など値動きのある証券等に投資しますので基準価額は変動し、また元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益は全て投資家の皆様に帰属します。当ファンドのお申し込みの際には、販売会社より投資信託説明書(交付目録見書)をあらかじめ、または同時にお渡しますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

誰が話をするんですか？

当ファンドにかかるリスクについて

当ファンドは、株式や公社債など値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、ファンドは、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

- ① 株価変動リスク... 株式市場が国内外の政治、経済、社会情勢の変化等の影響を受けたり、また株式の発行企業の業績悪化、信用状況の悪化などで、基準価額が下落する可能性があります。
- ② 金利変動リスク... 金利変動により債券価格が変動するリスクをいいます。一般に金利が上昇した場合には、債券価格は下落し、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
- ③ 信用リスク... 公社債および短期金融商品の発行体が財政難、経営不振、その他の理由により、利息や償還金をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなるリスク(債務不履行)をいいます。
- ④ 流動性リスク... 有価証券等を売買しようとする場合、需要または供給がないために、有価証券等を希望する時期に、希望する価格で、希望する数量を売買することができないリスクをいいます。
- ⑤ 投資信託に関する一般的なリスク
- ⑥ 運用体制の変更ならびに運用責任者の交代に関するリスク

当ファンドFM黒田がお話いたします。

お客さまにご負担いただく費用について

直接的に負担する費用

購入時手数料	取得申込受付日の基準価額に、3.24%(税抜3.00%)の率を上限として、販売会社が別に定める手数料率を乗じて得た額とします。申込手数料の詳細につきましては、販売会社にお問い合わせください。
換金時手数料	ありません
信託財産留保額	ありません

信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドを保有している期間、保有している金額に対して年率0.864%(税抜0.80%)。(配分(各税込): 委託者0.4158%・販売会社0.4158%・受託者0.0324%)
その他の費用 ・ 手数料	信託事務の処理に要する諸費用(監査報酬、目論見書等の印刷費用等を含みます。)有価証券売買時の売買委託手数料等 ※その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※詳しくは交付目論見書をお読みください。

<投資信託に関する留意事項>

投資信託は、その商品の性格から次の特徴をご理解のうえご購入くださいますようお願い申し上げます。

- ・投資信託は預金ではありません。
- ・投資信託は預金保険の対象となりません。
- ・投資信託は値動きのある有価証券等に投資するため、投資元本及び分配金が保証された商品ではありません。
- ・投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
- ・投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。

Monthly Report

時間は何時から何時ですか？

TORANOTECアクティブジャパン

追加型投信／国内／株式

2018年2月28日基準

13時～16時です。後半は質疑応答タイムもありますのでどしどしご質問ください。

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 ※詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。
換金単位	最低単位を1口単位として販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、営業日の午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。

申込みはどこから？

委託者、その他関係法人

委託者	TORANOTEC投信投資顧問株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第384号 商品投資顧問業(農経(2)第19号) 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本商品投資顧問業協会 (投資信託設定、投資信託財産の運用指図等を行います。)
受託者	株式会社りそな銀行(再信託: 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社) (投資信託財産の管理業務等を行います。なお、信託事務の一部につき、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に委託することができます。)
販売会社	(受益権の募集・販売の取扱い、一部解約の実行の請求ならびに償還金および一部解約金の支払い等を行います。下記表は当ファンドの販売会社の一覧表です。)

販売会社一覧

お申込みは active@toranotecasset.com

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
TORANOTEC投信投資顧問株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第384号		○		

上記のメールに氏名と人数を明記ください。

ご参加お待ちしております。

<ファンドに関する照会先>

ホームページ <http://www.toranotecasset.com>

電話番号 03-6432-0782(受付時間: 営業日の9時～17時)